

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	力を合わせてばらばらに
4	春のうた
4	なりきって書こう
4	白いぼうし
4	図書館の達人になろう／百科事典での調べ方
4	漢字辞典の使い方
4	春の楽しみ
5	聞き取りメモのくふう（話し方や聞き方から伝わること）
5	カンジーはかせの都道府県の旅1
5	漢字の広場①
5	思いやりのデザイン／アップとルーズで伝える／考えと例
6	お礼の気持ちを伝えよう
6	漢字の広場②
6	一つの花
6	つながぎ言葉のはたらきを知ろう
6	短歌・俳句に親しもう（一）
6	要約するとき
6	新聞を作ろう（アンケート調査のしかた）
7	カンジーはかせの都道府県の旅2
7	夏の楽しみ
7	本のポップや帯を作ろう
9	忘れもの／ぼくは川
9	あなたなら、どう言う
9	パンフレットを読もう
9	いろいろな意味をもつ言葉
9	ローマ字を使いこなそう
9	漢字の広場③
9.10	ごんぎつね
10	秋の楽しみ
10	クラスみんなで決めるには
10.11	世界にはこる和紙／伝統工芸のよさを伝えよう
11	慣用句
11	短歌・俳句に親しもう（二）
11	漢字の広場④
12	友情のかべ新聞
12	もしものときにそなえよう
12	冬の楽しみ
1	自分だけの詩集を作ろう
1	言葉から連想を広げて
1	熟語の意味
1	漢字の広場⑤
1	風船でうちゅうへ
2	つながりに気をつけよう
2	心が動いたことを言葉に
2.3	調べて話そう、生活調査隊
3	スワンレイクのほとりで
3	漢字の広場⑥
3	4年生をふりかえって
（授業の工夫）	○学習のめあてを明確にし、単元のねらいに応じてグループ学習などの学習形態を取り入れながら言語活動を工夫します。 ○朝学習を有効活用し、年間を通して文や文章の書き方、言葉の使い方などの練習に継続して取り組みます。
（評価について）	○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業で
（学習方法など）	○漢字の定着を図るため、漢字スキルや漢字スキルノート、漢字練習用ノートを使います。 ○物語文などでは、文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読ができるよう、『音読カード』を使って家庭学習を継続していきます。 ○幅広く読書に親しめるよう、学校図書館の本や図書ネット便を活用します。週1回、朝読書の時間を設けます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるよ
【思考力・判断力・表現力等】	○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

月	学 習 内 容
4	1 わたしたちの東京都(副読本) 東京都の様子
5	2 住みよいくらしをつくる(教科書)
6.7	(1)水はどこから (2)ごみのしりと利用
9.10	3 自然災害から人々を守る(教科書)
9.10	(※風水害からくらしを守る) (※地震からくらしをまもる)
11.12	4 東京都の伝統や文化、東京都の発てんにつくした人々(副読本)
11.12	(※受けつがれる祭り) (※玉川兄弟と玉川上水／後藤新平)
1. 2.3	5 東京都の特色ある地域の様子(副読本)
1. 2.3	(※染め物のさかんな新宿区) (※世界とつながる大田区／自然や文化を生かす地域)
	※選択単元

〈授業の工夫〉	○地図帳や白地図を用いて自分たちの都道府県の地理的環境を理解し、47都道府県の名所と位置についての知識を定着させます。 ○東京都で使われる物の供給の仕組みや経路、生活を支える事業について見学・調査を行い、電気・ガス・水道は安全・安定的に供給され、健康な生活の維持と向上に役立っていることを指導します。 ○過去に起こった災害を知り、人々を守る施設や活動について調べたり考えたりするように指導します。
〈評価について〉	○单元ごとのテストや、調べ学習で資料を用いて必要な情報をまとめているかを評価します。 ○普段の学習での発言や考えの記述から適切な表現ができているかを評価します。 ○学習したことを振り返り、自分自身が暮らしている東京都について考えようとする意欲を
〈学習方法など〉	○インタビューや調べ学習、図書館の活用、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、学習に関心をもつことができるようにします。 ○社会科見学などを通して実際の話を聞き、関心・意欲が高まるようにします。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	学びのとびら
4	1. 大きい数のしくみ
4	◆他教科との関連:英語
4.5	2. 折れ線グラフと表
5	◆他教科との関連:理科
5.6	3. わり算の筆算(1)
6	☆おぼえているかな？
6	4. 角の大きさ
6.7	5. 小数のしくみ
7	★考える力をのぼそう
7	★そろばん
9	6. わり算の筆算(2)
9	★倍の見方
10	7. がい数の使い方と表し方
10	☆おぼえているかな？
10	★算数で読みとこう
10	☆おぼえているかな？
10	8. 計算のきまり
10	☆おぼえているかな？
11	9. 垂直、平行と四角形
12	10. 分数
12	☆おぼえているかな？
12	11. 変わり方調べ
12	☆おぼえているかな？
1	12. 面積のはかり方と表し方
1	◆他教科との関連:英語
2	13. 小数のかけ算とわり算
2	★どんな計算になるのかな？
2.3	14. 直方体と立方体
3	◆他教科との関連:英語
3	★考える力をのぼそう
3	★算数で読みとこう
3	★4年のふくしゅう

〈授業の工夫〉	○主体的に問題に取り組めるように、日常の事象から問題を取り上げたり、実際に測定するなどの活動を取り入れたりしていきます。 ○思考の援助として、具体物やプリント等を用意します。 ○図や式などを活用して問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、他者と伝え合うなど対話的に学べるようにします。
〈評価について〉	○既習の知識及び技能を踏まえて、基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器、定規の使い方、計算ドリルなどを基に評価します。
〈学習方法など〉	○大きい数のわり算や小数の計算練習を計算ドリルや朝学習などで継続的に行います。 ○およその数や□を使った式など、理解の定着に時間のかかる単元は継続的に復習します。 ○分度器で角度を測るなど、巧緻性を求められる作業は繰り返し練習します。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	春の始まり 天気と気温
5	春
5,6	電池のはたらき
6	とじこめた空気や水
7	夏
7	星の明るさや色
9	夏の終わり
9,10	雨水のゆくえ
10	月と星の位置の変化
11	わたしたちの体と運動
11	秋
11,12	ものの温度と体積
12	冬の星
1	冬
1,2	もののあたたまり方
2,3	すがたを変える水
3	春のおとずれ

〈授業の工夫〉	○自然の事物・現象から見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想するといった問題解決の力を育成します。 ○自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追及する活動を通して、学習内容の理解を図ります。 ○観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けられるよう、継続的に観察し、記録していくことを大切にします。 ○問題解決の力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育てます。
〈評価について〉	○单元ごとのテストによる評価と合わせて、観察・実験の計画や予想、結果などを記したノートやワークシートの記録、授業中の発表から評価します。 ○関係付けて調べる活動を通して、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。
〈学習方法など〉	○気温と天気、空気と水など身の回りの科学的事象など、学習したことと、日常で経験していることを関連させて取り组ませます。 ○夏休み中に、星や月についての観察を継続して取り組むように指導します。ご協力をお願いいたします。 ○学習の定着を再確認するために、タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	○音楽で心の輪を広げよう 小さな世界 リズムでなかよくなろう さくらさくら
5	○歌声のひびきを感じ取ろう いいこと ありそう パパゲーノとパパゲーナの二重唱 風のメロディー せんりつづくり まきばの朝
6	○いろいろなリズムを感じ取ろう クラッピング ファンタジー 楽しいマーチ いろんな木の実 ピーナッツ ベンダー 言葉でリズムアンサンブル
7	○ちいきにつたわる音楽に親しもう こきりこ
9	○せんりつのとくちょうを感じ取ろう 陽気な船長 ゆかいに歩けば とんび 白鳥／堂々たるライオンの行進
10	○せんりつの重なりを感じ取ろう パレード ホッホー フェアランドール オーラ リー もみじ
11・12	○いろいろな音のひびきを感じ取ろう 打楽器の音楽 茶色の小びん ポロネーズ(木管楽器の仲間)
1・2	○日本の音楽でつながろう こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より 津軽じょんがら節／ていんさぐぬ花 ことをひいてみよう
3	○思いを音楽で表そう 赤いやね家 山の魔王の宮殿にて 朝の気分

〈授業の工夫〉	○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を進んで伝え合う場を多く設定します。
〈評価について〉	○題材の表現や技能だけでなく、進んで音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を学習カードや音楽活動を通して評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価します。
〈学習方法など〉	○音楽朝会など、発表の場を多く設けます。 ○長期休業中には、技能習熟のためにリコーダーを持ち帰り、家庭練習をするように計画します。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくり表したりしている。
【思考力・判断力・表現力等】	○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

月	学 習 内 容
4	しぜんの形 オリエンテーション 絵の具でゆめもよう
5	コロコロガーレ (選択)コロコロワールド (選択)みんなでコロコロコースター 立ち上がれ！ねん土
6	まぼろしの花
7	ギコギコトントン クリエイター ここをつつんだら (選択)遊具を (選択)教室にあるものを
9	色合いひびき合い わすれられない気持ち
10	おもしろだんボールボックス
11	ひみつのすみか
12	光とかげから生まれる形 (選択)暗い場所で (選択)明るい場所で カードでつたえる気持ち
1	まどをのぞいて ようこそ！ゆめのまちへ
2	ゴー！ゴー！ドリームカー (選択)ゴムの力で (選択)風の力で ポーズのひみつ
3	ほってすって見つけて

〈授業の工夫〉	○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。 ○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。
〈評価について〉	○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、感想を書いたり、自己評価を行ったりしていきます。
〈学習方法など〉	○道具や材料の活用や友達との学び合いを通して、自らの表現を深めることにつなげられるようにします。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や発育・発達について理解するとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

月	学 習 内 容
4	体ほぐしの運動
4	多様な動きをつくる運動
5	かけっこ・リレー
5	鉄棒運動
6	表現運動
6	フラッグフットボール(ゴール型)
7	水泳運動
7	リズムダンス
9	マット運動
10	保健・体の発育と健康
10	走り高跳び
10・11	キャッチバレーボール(ネット型)
11	跳び箱運動
12	多様な動きをつくる運動
1	小型ハードル走
1・2	ティーボール(ベースボール型)
2・3	グリッドサッカー(ゴール型)

〈授業の工夫〉	○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行い、体力や技能を伸ばします。 ○各種の運動について、みんなが楽しめるようなルールや動きを考え工夫することを重視します。
〈評価について〉	○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○運動の楽しさを味わうための工夫や、自分の能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価します。また、学習カードも用い、自己評価や児童相互の評価も大切にします。 ○きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりする様子も観察し、評価します。
〈学習方法など〉	○長なわ跳び月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や起用材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった活動を選択することで、課題解決に取り組みます。また、考えたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。

第4学年(道徳)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
目 標	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
第4学年及び第4学年重点目標	○身近な人と協力し助け合うこと ○集団や社会のきまりを守り、正しいと判断したことを進んで行おうとすること

月	学 習 内 容
4	個性の伸長
4	礼儀
4	親切、思いやり
5	友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任 節度、節制
6	生命の尊さ 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 よりよい学校生活、集団生活の充実
7	自然愛護 規則の尊重
9	よりよい学校生活、集団生活の充実 正直、誠実 友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任
10	相互理解、寛容 感謝 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実
11	公正、公平、社会正義 親切、思いやり 規則の尊重 勤労、公共の精神
12	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 希望と勇気、努力と強い意志
1	感動、畏敬の念 正直、誠実
2	個性の伸長 節度、節制 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実
3	勤労、公共の精神 感謝

〈授業の工夫〉	○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切
〈評価について〉	○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートへの記述をもとに肯定的評価を
〈学習方法など〉	教科書とノートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

令和6年度 第4学年(外国語活動)年間学習計画

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	Let's Try!2 Unit 1 (2時間) Hello, world! 世界のいろいろな言葉であいさつをしよう。
4・5	Let's Try!2 Unit 2 (4時間) Let's play cards. すきな遊びを伝えよう。
6	Let's Try!2 Unit 3 (3時間) I like Mondays. すきな曜日は何かな？
6・7	Let's Try!2 Unit 4 (4時間) What time is it? 今、何時？
9	Let's Try!2 Unit 5 (4時間) Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう。
10	Let's Try!2 Unit 6 (4時間) Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう
11・12	Let's Try!2 Unit 7 (5時間) What do you want? ほしいものは、何かな。
12・1	Let's Try!2 Unit 8 (4時間) This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう。
2・3	Let's Try!2 Unit 9 (4時間) This is my day. ぼく・わたしの一日

〈授業の工夫〉	○OCDや英単語カードの活用、対話をする活動を多く取り入れ、児童が楽しめる授業をめざします。
〈評価について〉	○活動の様子や振り返りから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、相手の顔を見て明瞭な声で話そうとしているかなどを評価します。
〈学習方法など〉	○外国語活動では、積極的に発話することで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で発話する機会を多く設けます。